



スペックの履歴書

～パチスロ規制進化の全記録～

SPEC ARCHIVES...Chronicles of Slot Regulation



～前回の振り返り～

パチスロは1985年の風営法施行で「1号機」として産声を上げ、1988年の2号機でようやく完全確率方式を手に入れた。だが規制とゲーム性の攻防は、ここから本番を迎える。

第3回：CR革命と果てなき競争 ～確率インフレが止まらなかった理由～

今回は1992年の4号機登場と旧規則導入の衝撃を辿った。完全確率という「公正なルール」を手に入れたパチスロは、次の一手を巡って静かに動き始めていた——確率に、上限はなかった。

パチンコが火をつけた「連チャン戦争」

Spec Archives

1992年8月、京楽・西陣・SANKYO・ニューギン・三洋・竹屋の6メーカーから同時発表されたのが、初のCR機群だった。プリペイドカードで玉を借りる、それだけの話だった。少なくとも最初は。

ところが当初、CRのみに搭載が許された「確率変動（確変）」という機能の存在が、状況を一変させた。それまで規制されていた連チャン性を、合法的に実装できる抜け穴だったのだ。

最初は鳴かず飛ばずだったCR機が爆発的に普及するきっかけは、1機種だった。1993年に登場した西陣の『CR花満開』は確変突入時の出玉性能が飛び抜けて高く大ヒットを記録

し、ホールへのCR機導入は加速的に増えていった。

これをきっかけに、パチンコメーカーたちは「いかに爆裂させるか」の競争に突入する。連チャン率80%を誇る機種が登場し、子供の車内放置死亡事件、偽造カード問題が社会問題化。「パチンコ依存症」という言葉もこの時期に生まれた。

行政が動いた。1996年10月、保通協により新規制が施行。「2回ループ禁止」「確変率50%まで」「確変5回リミッター」——いわゆる「CR機5回リミッター時代」の幕開けだ。

これはパチンコの話だ。だがこの規制が、パチスロの運命を大きく変える。

漁夫の利——パチスロが受け取ったバトン

Spec Archives

パチンコのCRバブルが弾けた1996年以降、ホールには新たな救いの手が現れた。リプレイハズシを搭載したパチスロ4号機群の台頭だ。若者層を中心にパチスロ人気が急上昇し、設置台数の増加スピードが加速していった。

4号機が発売されていた時期、パチンコのホールをパチスロ専用に改装する店が多くあった。パチンコの出玉に関する規制が一時厳しくなったため、より爆発力の大きいパチスロに客が流れたことが大きな要因だった。

そしてパチスロ側でも、スペック競争の火種が静かに燃え始めていた。

4号機の規則には、じつはBIG中の獲得枚数を直接制限す

AT機という「合法的な核兵器」

Spec Archives

大量獲得機の次に来たのが、AT（アシストタイム）機というゲームチェンジャーだった。AT機の仕組みは単純だ。「この役は左リールから押せ」という情報を画面で教える。それだけで、出玉率は劇的に変わる。技術介入と完全確率の組み合わせが生み出した、規則の外枠ストレスの発明だった。

2001年前後、『獣王』を筆頭としたAT機が登場し、パチスロ単体での出玉性能はそれまでとは次元の違うレベルへと拡大した。最大711枚の出玉が獲得できる大量獲得機の登場やATブームにより、1日で数万枚以上という異常なまでの出玉性能を持つ機種が次々と生まれていった。

インフレの終わり——規制は必ずやってくる

Spec Archives

過激化する一方の出玉性能が世間で問題視される中、2002年7月、日電協は自主規制を改定。「適度な射幸性を超えるおそれがある」として判定した一部機種を4.1号機と呼称することとした。さらに2003年には「著しく射幸性が高い」と判断された機種が検定を取り消され、撤去された。

なお、パチンコ側の5回リミッターは1999年前後に実質的な緩和が始まったとされており、パチスロ側の自主規制強化

（2002～2003年）とは時期がずれている。両者が同じタイミングで動いたわけではなく、業界全体で「過激化と規制」の波が交互に繰り返されてきた、というのがより正確な見方だ。

歴史は交互に繰り返す。一方が締め付けられれば他方が伸び、やり過ぎれば規制が来る。1992年から2003年のこの10年は、その振り子が最も激しく揺れた時代だった。

年表 1992～2003年のスペック競争

パチンコ側

初のCR機、6社同時発表
確変搭載で連チャン合法化へ

CR花満開（西陣）大ヒット
2回ループ機が普及加速

CR機5回リミッター規制施行
CRバブル崩壊、パチンコ冬の時代

5回リミッター撤廃（日工組内規）
パチンコが規制緩和へ転換

パチスロ側

4号機登場・リプレイ搭載
リプレイハズシ文化が生まれる

パチスロ設置台数が急増
パチンコ客をパチスロが吸収

大量獲得機ブーム到来
大花火・B-MAX、BIG600枚超

AT機・獣王が爆発的ヒット
大花火・B-MAX、BIG600枚超

日電協が自主規制→4.1号機区分
一部機種が検定取り消し・撤去へ

1992
1993
1996
1998
1999
2001
2002～2003

□ 規制・転換点 □ 緩和 □ パチンコ □ パチスロ

※本稿に記載の数値等は複数ソースで確認したのですが、集計時期や調査方法により差異が生じる場合があります。参考値としてご覧ください。

【次回予告】第4回：黄金期の終焉～4号機撤去、あの興奮はこうして消えた～

北斗の拳・吉宗が席卷した頂点の時代から、2007年9月30日の完全撤去までを辿る。